

「今までどうり」は7% 「廃止した方がよい」が54%

「ご意見をお寄せください」病気見舞のお返しについて、ご意見がありましたら、四百字詰原稿用紙一枚程度にまとめ、五月十五日までに広報広聴係までお寄せください。

アンケート結果 その②

暮らしの申の病気見舞のお返し

中央公民館と連合婦人会では、「病気見舞のお返し」について、市民の意識調査を実施してきましたが、このほどその結果がまとまりました。

今月号では概要を紹介し、六月一日号で詳しく掲載する予定です。

この調査は、「古い慣習について簡素化を進めてほしい」との、市民からの強い要望を受け、市内の四百世帯を対象に行ったものです。

調査内容は ①病気見舞に対する市民の意識評価 ②市民の思考 ③市民の協力度 ④実践方法 ⑤自由意見の五項目です。

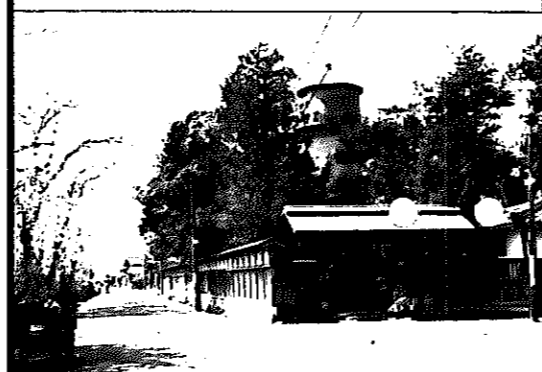
病気見舞のお返しについてどう思っているかの設問に対し、七五%が「どうやって返したらよいかわからない」と返しています。

また、「無駄だと思ふ」が七%、「廃止することについてどう思うかの問いでは、「今までどうり」がわずかに七%。残り「廃止した方がよい」「すでに廃止している」「金額を決め気持ちはいい」との回答がほとんどです。

「つき合い」——それは人と人が仲良くやっていくための潤滑油的な役割があります。でも、因習や習慣にとらわれ、義理だけのつき合いになってしまつては、社会生活の知恵として保持されてきた「病気見舞」は、果たして必要なのでしょうか。



白根を象徴する大風合戦。今年は6月3日から7日まで行われる



旧三国街道沿いにある白根庭園と配水塔。また、道路下には水道公園、近くには諏訪木運動広場もあり、散策には最適

鷲ノ木の桜遊園とグレープガーデン。時期になれば多くの家族連れなどにぎわう



特産の食用菊を使った料理。料理方法は、混ぜごはん、塩漬け、中華風そうざいなど、幅広く活用できる。

この調査は、市民がどのように白根市をイメージづけ日常生活を送っているかを知るため、2月10日から1か月で行った、単純調査です。世論調査のような本格的なものではありませんが、「これが白根市」といったものが、ある程度つかめるかと思ひます。

- ▶調査の設計
- 1 地域/市内全域
 - 2 調査/高校生以上の市対象 民と市内に勤務する人
 - 3 抽出/無作為抽出

白根市のイメージ!

市民600人に聞きました。

Q1 白根市私は好きです

10~20代 (男)69.2% (女)59.5%
30~40代 (男)71.6% (女)73.1%
50代以上 (男)86.5% (女)85.7%

年配者ほど好きと答えています。理由として半数以上が、自然を挙げています。しかし反面、嫌いだと答えている10~20代の若者が、男30.8%、女が40.5%いるのが気がかりです。

嫌いな点は、文化体育施設をはじめとする都市施設整備の遅れ。商店街に活気がない。交通の便が悪い。特色のない町などで、牧歌的要素より都会的センスのある町づくりへの脱皮を望んでいるようです。

〔風合戦〕45.3% 〔田園〕12.7%
〔米(コシヒカリ)〕8.2%
10代~50代以上の各層で1位です。日本一、世界一の大風は、市民にとって誇れるものとなっています。また、田園を支持したのは、年配者より若者たちが多く、若者の農業離れの中にあつて注目される点です。

Q4 白根市を代表するお祭り行事は

〔風合戦〕84.3%
圧倒的な強さです。協会、公民館の努力で、各地区の小学校でも風づくり、風上げが盛んです。市民総参加の祭りをめざすとき、この風合戦をどう生かしていくかが今後の課題と言えそうです。

Q2 白根市を色でたとえると

〔緑色〕45.5% 〔白色〕13.6%
〔灰色〕11.4%

緑色が圧倒的に多くなっています。このことは、「花と緑の白根市」のPR標語に代表されているように、田園都市というイメージが強く浸透しているといえます。また、暗いイメージの「灰色」が第3位にあるのは、調査時期が2月の豪雪時と重なったことと、Q1の中でも述べたように、若者層の都市施設などに対する不満足度があるようです。

Q5 あなたが選ぶ名所、旧跡は

〔白根庭園〕6.2% 〔配水塔〕4.2%
〔鷲ノ木桜遊園〕4.2%

歴史的に浅く、史跡や名所に乏しく、町のシンボルとしてのやすらぎ場所がないとも言えますが、桜遊園の桜、観光果樹園と、家族連れで一日ゆっくり楽しめる所も市内にはありますよ。

Q6 人物は

〔故加藤清二郎氏(名誉市民)〕〔吉沢市長〕〔故石山賢吉氏(元新潟県人会々長)〕
以上が上位3名の方ですが、思いあた

Q3 白根市を象徴するものは



風菓子と白根仏壇

らないと答えている人が多く、白根のために尽くした歴史的な人または、現在、いろいろな分野で活躍中の人々を、今少し知る必要があるようです。

Q7 白根市の特産物は

〔果物〕29.7% 〔仏壇〕25.8% 〔米(コシヒカリ)〕16.9%
梨、ブドウ、桃といった果物類がやはりトップでした。自然の味覚に恵まれた環境を喜びたいものです。伝統工芸品に指定された白根仏壇は、今後のシェア拡大が大いに期待できそうです。

Q8 お土産品は

〔風菓子類〕36.6% 〔笹だんご〕21.5%
〔果物〕11.4%
品名順位とも順当のようです。ただ、観光面に乏しい当市では、農産物類が多く挙げられました。

Q9 ふるさと料理は

〔のっぺ〕36.6% 〔煮菜〕3.8%
のっぺについては当市だけのものだけでなく、新潟県の代表的な料理で、やはり人気があるようです。このほか、もち雑炊や白根特産の食用菊料理などと答える人もあり、一般的に食卓に出される料理が挙げられました。

▶市民が選んだ方言

おめさん・だすけ・そ
うらて・○○がん・しょ
ら・らっけ・お〜よ・そ
ういがんだ・ずる・なじ
らね・いか・げえちま
ふつとつ・○○らこてね
いちげにはや・おまえ
ねら・そんげ・ぜん

▶集計を終えて

若者たちの目には、特色のない町として、映ったようですが、「自然」と「食」には、どこにも負けないふるさとです。また、各項目とも「わからない」と答えた人が案外に多かったのは残念です。ふるさと再発見を、あなた自身の足で確かめて見てはいかがでしょうか。